

名張市総合計画パブリックコメント一覧

市民等の意見の概要	区分	回答案
<p>第1章 基本構想 4 重点プロジェクトと基本施策 住民に訴える力が弱い。基本施策の動詞は住民生活に必要な要素の一部ではなく、重要な要素をほぼ網羅しているという説明が必要だと思います。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、次のように修正します。 <重点プロジェクトと基本施策> 本計画のテーマとなっている「動き」。 目指す10年後の姿の文頭にある「変化をおこす」でも動きを表しています。 基本理念及び目指す10年後の姿の実現に向け、まちが行政だけでなく、そこに主体的に関わる市内の人たちであふれることが重要です。「誰かがやってくれる」ではなく、「自ら行動する」、より良い名張をかたちづくるために「動き」を本計画のテーマとしました。 テーマである「動き」を持って、これまでの取組を継承、発展させ、ひととまちを大切に重点プロジェクト「おこす」と重要な「動き」を持った7つの基本施策（動詞）を設定しました。</p>
<p>第1章 基本構想 4 重点プロジェクトと基本施策 将来の姿が「こうありたい」というような希望に止まらず、自らが主体的に関わることを意識して推進するための動詞であることを訴えてほしい。また、簡単なイラストを添えてほしい。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、次のように修正します。 <7つの基本施策> 「基本理念及び目指す姿の実現に向け、7つの基本施策は「はぐくむ」、「つなぐ」、「つくる」、「すすめる」、「ささえる」、「ととのえる」、「まもる」のそれぞれ異なる重要な動きを持った動詞を設定しました。 施策を推進していくにはひととまちが大切と考えています。 ひととまちが基礎となり、それぞれの動きが関わりを持って動くことが必要です。 また、それぞれの動きである施策も、それぞれが関わり、連動することにより力強い動きになります。 それを次のようなロゴで表現しました。」</p> <p>なお、本ページのイラストにつきましては、「ひととまち」を中心に、7つの基本施策を展開していくことを印象付けるものとして掲載しており、追加等は行わず原案のとおりといたします。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-2:学校で元気な「ばりっ子」をはぐくみます 「現状と課題」の4つ目の○で「計画に取り組む必要があります」とあるが、具体的な計画を想定したものなのであればその計画を明記し、もし具体的な計画を想定したものではないのであれば「計画的に取り組む必要があります」としてはどうか。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、「計画に取り組む必要があります」の記載を「計画的に取り組む必要があります」に修正します。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-5:緑の循環を促進し、豊かな森と緑をはぐくみます 「取組の内容」の3つ目及び「現状と課題」の4つ目の○に「森林環境教育」とあるが、実際に木に触れ親しむという観点も重要であると考えてるので、「森林環境教育・木育」としてはどうか。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、「取組の内容」の記載を「森林環境教育・木育の普及と拡充に取り組みます」に修正します。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-5:緑の循環を促進し、豊かな森と緑をはぐくみます 全体的に木材生産側の視点での記述が中心であるが、緑の循環のためには木材利用推進という視点も重要であり、県で「三重の木づかい条例」が制定されるなど木材利用推進の機運が高まっていることも踏まえ、「取組の内容」等において、名張市産材も含めた木材利用推進についても記述してはどうか。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、「この施策で目指すもの」の記載を「かつて、（中略）再興を目指し、名張産木材の利用促進と林業の活性化を進めます。」に修正します。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐ-2:文化をはぐくみ、次世代につなぎます 現状の記述ではどこにも、名張市が誇る「文化資源」や「地域文化財資源」の具体的事例への言及がないが、内容により具体性を持たせるため、どこかで美旗古墳群や夏見廃寺跡、名張藤堂家邸跡などの具体的事例に言及してはどうか。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、次のように修正します。 <この施策で目指すもの（2段落目）> また、史跡や能楽などの多様な文化資源を活用し、地域の魅力を発信することで、郷土への誇りと愛着心を高めます。 <現状と課題（2つ目の○）> 「なばり学」の学習が進められ、美旗古墳群、夏見廃寺跡及び名張藤堂家邸跡への市内小中学校による見学が行われる等、文化資源への関心が高まっており、これらの適切な保全を図るとともに、市民の学習ニーズに応じた歴史講座や資料展示が求められています。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つくる-1:多様性を認め合える男女共同参画と多文化共生のまちをつくります 「取組の内容」の1つ目に「市内の全ての事業」とあるが、それだと民間事業者が市内で行う事業も含まれるように思われるけれども、取り組む主体は市であるので、「市の全ての事業」又は「市が実施する全ての事業」としてはどうか。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、次のとおり修正します。 「市が実施する全ての事業で男女共同参画・多文化共生を意識しながら取り組むのはもちろんのこと市内の事業所などでもこれらを意識した取組をしてもらえるよう働き掛けます。」</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つくる-1:多様性を認め合える男女共同参画と多文化共生のまちをつくります 「現状と課題」の3つ目の○で「性の多様性を認め合うまち・なばり」の宣言に言及しているのに「この施策で目指すもの」や「取組の内容」に対応する記述がないので、それらの項目にも性の多様性の尊重を推進する取組について盛り込むべきではないか。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、「取組の内容」に次の文を追加します。 「性の多様性に対する理解を深めるための機会を積極的に提供します」</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 ととのえる-1:生涯スポーツができる環境をととのえます 「現状と課題」の2つ目の○における「効果効率的」という表現には違和感があるので、「効果的・効率的」、せめて「効果・効率的」としてはどうか。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、「効果効率的」を「効果的・効率的」に修正します。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 ととのえる-2:活動や憩いの場となる緑地や公園の環境をととのえます 4ページ目の公園・緑地の維持管理方針の検討を課題として挙げているが、前段の文書と合わせて考えると、この表現だと地域に管理を委ねる方向のように読んでしまう。地域に委ねるように受け止める表現は慎んでいただきたい。</p>	1. 修正	<p>ご意見の内容を踏まえ、次のように修正します。 <現状と課題（2つ目の○）> 公園・緑地の維持管理については、限られた行政資源・委託している地域等の課題を含め、持続可能性を考慮した様々な管理手法を検討する必要があります。</p>
<p>計画素案全体について 16ページの「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」や26ページの「ラストワンマイル問題」など、調べないと内容がよくわからない用語が散見されるので、三重県の「みえ元気プラン」のように、計画の末尾などに用語解説を設けてはどうか。</p>	1. 修正	<p>ご意見をいただきました用語も含め、内容のわかりにくい用語については、計画の末尾に用語解説を設けさせていただきます。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-6:協力者、関係人口を増やし、「名張」らしさをはぐくみます 若者が集える居場所づくり、子どもが集える居場所も盛り込んでほしい。学童が無理なら、親が働いている子どもたちが居場所として利用できる場所が必要だと思う。梅が丘のナウラミみたいな場所がもっと地域ごとにあれば良いと思う。かがやきも、高校生まで利用可能であるが、全くそれに対応できていない。小学生ですら、かがやきに行ったら煙たがられる。もっとみんなが集まれるようにしたら、人と人とのかわりも増えると思う。図書館も場所が不便であるし、本の種類や数も少ないし、居心地が良くない。最近、居心地の良い図書館が増えている中、名張の図書館はあまりに貧相である。そこで桔梗が丘の近鉄プラザの跡地を図書館にするのも一つだと思えます。駅に近くみんなが利用しやすいです。そこへ、赤ちゃんかお年寄りまでが過ごせる空間を作ったり、学童へいけない子の居場所を作ったり、ちょっとした買い物やカフェスペース、習い事の場を提供したりして、素敵にしてもらいたい。図書館は案外、集客力もあるし、素敵な図書館だったら、近鉄電車を利用して名張市以外の人も来ると思えます。映画館を入れてもらえたらなお良いです。</p>	2. 既記載	<p>子どもの居場所については、15ページの「全ての子どもを健やかにはぐくみます」の施策において記載しております。桔梗が丘の近鉄プラザ跡地利用の件とともに、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 まもる-1:みんなの人権をまもります L G B T Qや障害者差別のことも言及すべきではないか。</p>	2. 既記載	<p>L G B T Qについては、29ページの「多様性を認め合える男女共同参画と多文化共生のまちをつくります」の施策で包括させていただいております。また、差別の種類について、法務省人権擁護局の資料等でも10種類以上の課題が挙げられておりますことから包括的に人権とさせていただきます。</p>
<p>第1章 基本構想(全体について) 少子高齢化対策、そして関係人口ではなく定住人口拡大に向けて、地区別世帯数と人口を細分化し、地域特性に合わせた施策が必要と思われる。少子高齢化の顕著な地区（高齢化率（65歳以上の方が占める割合）が40%以上）では、健康・介護問題、後継者問題、空き家状況を把握する（※高齢化率が30%を超える地区は予備軍）。</p>	3. 参考	<p>名張市に住み続ける人を増やすには、名張市に関わる人（関係人口）の増加が非常に重要と考えており、関係人口の増加が定住人口の増加につながると考えております。ご提案いただきました地域別の提案につきましては、各地域の要望なども考慮し参考にさせていただきます。</p>
<p>第1章 基本構想 2 目指す10年後の姿 「目指す10年後の姿」の実現に向けて具体的にどのように取り組むかが記載されていない。人や情報については、共有する“場”の存在が大切と考える。現在は、SNSやケーブルテレビの時代であるが、できれば1箇所に情報を集約して、内外の人が気軽に立ち寄って情報交換できる場所も必要でないか。現市役所や新しくできる道の駅ならその機能を持たせることができるのではないかと思う。 ①やりたいこと（提案）を発信して→協力者を募り→市も一緒になって実現に向けて進めてみる→市民にアピールして→さらにひろげる ②実際にイベントを行った人の体験談を発信して→私にもできる、応援できる→行動を起こす ③いくつかの「コトづくり」サンプルを提示して協力者を募集する→専門家も含めプロジェクト化して→効果を検証する ④Y o u紙等に紹介されている人財を活かすなど</p>	3. 参考	<p>本計画でも「場」は大切と考えております。市長との意見交換会においても若い世代から居場所の重要性に関して提案いただき、重点プロジェクトにおいて、居場所づくりの支援の項目を設定しました。また、本計画においては、シティブロモーションである名張市の発信についても非常に大切であると考えております。行政からの発信だけでなく、SNS等を通じた市民の皆さんの発信が重要と考えており、様々な方法でシティブロモーションを行っていきたくと考えております。</p>
<p>第1章 基本構想 3 ひととまち 小中学校の「なばり学」は継続性に欠けている。どんどん進めてほしい。</p>	3. 参考	<p>「なばり学」については、平成30年から段階的に開始し、現在は小学校から中学校の9年間を通して継続的な取組を行っております。「なばり学」は、子ども達とふるさと名張を大切に思い、自然を守り、伝統や文化を引き継ぎ継いでいく一人であるという意識を持てるよう行っており、学習資料のみならず映像コンテンツの充実やゲストティーチャーの力も借りながら、今後も「なばり学」の推進を通じた学習を進めてまいります。</p>

市民等の意見の概要	区分	回答案
第2章 基本計画(全体について) 「関連人口の増大」は、総務省が推奨している方向性であるが、名張市は旧村と住宅開発で転入してきた市民の二重構造であり、目的や縁故で名張市を訪れる「関連人口」とは切り離れた施策が必要と思う。住宅地は次の時代の高齢化予備軍であり、一気に高齢化が顕在化するリスクがあるので、住宅地の再生事業計画を今から進める必要がある。	3. 参考	本計画においては、一人でも多く名張市に関わる人（関係人口）の増加を目指しております。年代や背景の区分なく、名張市に関わっていただいた方が名張市の魅力を語っていただき、関係人口の増加につなげたいと考えています。
第2章 基本計画(全体について) 少子高齢化の顕著な地区（高齢化率が40%以上）の高齢化対策と近未来に訪れる住宅地再生計画を、短期と長期の対策として並行して進めるべき。	3. 参考	高齢化対策においては、特定の地域だけではなく、市全体として対策を講じていく必要があると考えております。近未来に訪れる住宅地再生計画を、短期と長期の対策として、並行して進めるべきについてですが、今後の参考にさせていただきたいと思っております。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト(全体について) 団地施策を打ち出してほしい。大規模団地開発により人口増で名張市も発展してきたが、人口減少時代に入った今日、団地の高齢化を地域ビジョン等の支援に任せるだけではなく、名張市として団地政策を他の施策と同様な位置づけで重点プロジェクトで取り上げてほしい。	3. 参考	住宅団地の高齢化は重要な課題としてとらえております。住宅団地のみならず、また、本市だけの問題でなく、人口減少社会は避けては通れない課題となっています。そのような中で、どのような名張市をかたちづくるのかなどを審議会で議論し、現在の計画素案となりました。関係人口を増やし、そして定住人口につなげられる施策に、引き続き取り組んでいきたいと考えております。
第1章 基本構想 3 ひととまち 最終行は「この基盤を大切に、目指す姿の実現に取り組みます」とあるが、取組には予算によることも承知しているが、推進を年度毎の事業計画と予算に委ねるのではなく、推進していく体制づくりが重要であることを明記してほしい。	3. 参考	ご意見いただきました「目指す姿の実現に取り組みます。」につきましては、新たな総合計画策定に向けて設置しました総合計画審議会でも審議を重ね、現在の表現としております。本計画は名張市に関わる全ての方がそれぞれの方法で目指す姿の実現に向けて取り組んでいくものであります。取組を推進する体制づくりにつきましても包括して考えており、原文の通りといたします。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす ○商工会を核とした若手起業家育成を前提とする「商社（※五條市参照）」の設立 ○農協を核とした農業の「六次産業化」による就業先確保 ○既存及び新たな名産品の創出と、販売拡大戦略 ○既存産業の活性化：農業との融合による、観光事業の抱える課題（滞留時間が短い）の解消 ○自然環境に恵まれた立地を活かした、「時間消費型空間」の創出による、関係人口の拡大	3. 参考	名張商工会議所にも情報共有させていただき、今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>六次産業事業会社を立ち上げる・・・赤目里山地区：加工場の建設、観光との連携による経済効果 ・農産物を使った、フリーズドライ食品の製造、飲食店、商品化によるフードロス低減 ※五條西吉野村「王隠堂」事例	3. 参考	会社の設立、工場の設置等には費用も要することではありますが、今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>市内4駅前の地区特性を踏まえた再開発の実施：名張市への流入人口拡大策を想定した取り組み ・赤目口「観光の窓口」、名張「商店街の復興」、桔梗が丘「住宅地のリモデル」、美旗「伊賀市との連携」	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>地場農産物を使ったレストラン事業の開業、あるいはスタンブラリー方式での既存飲食店のアピール活動 ・B級グルメの商品開発 ※伊賀米を使ったお握り・焼きお握り テイクアウト或いは竹の皮包装での差別化	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>赤目、美旗、及び市内名所における観光事業の強化 ・赤目地区：農業資源と連携し、観光滞留時間を増やす ・美旗地区：東の玄関口として、古墳群の見せ方改善、伊賀市との連携による立ち寄り率の改善 ・自然環境、温泉宿の新たな利用客の創出（芸術家、分筆家、音楽家、女子会、企業別荘・・・） ・3欲・・・「食欲」「睡眠欲」「物欲」を刺激するものを、ワークショップ形式で公募、形：コンテンツにしていく事	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>平尾山カルチャーパークの活性化による新時代対応型のカルチャー施設への転身 ・若い世代、子育て世代が求める環境と具体的な設備を具現化させること ・育児教育に特化した環境への転換、ヤンママのギャザリング施設化 ※本格的な図書館は桔梗が丘駅前に移設	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>起業家支援体制の構築 ※支援団体、NPO、人材輩出商社 ・赤目地区：農業家支援体制 ※農業家育成教室：郷土資料館 ・古民家、商店街のある名張駅前地区：事業者支援体制：空き店舗、空き家活用 ・桔梗が丘駅前地区：サービス・ネット通信事業者、「図書館とカフェと公園のある在宅ワーカーオフィス」	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>SDGsへの取り組み ・脱炭素社会を目指すべく、「ごみの炭素化システム導入などの検討」 ・農産物ロスの削減策の検討 ・古民家の再生	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす <提案>既存建物の利活用状況と生活インフラの棚卸しと、10年後を想定した再生策の立案	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 産業をおこす 名張市に新産業創出として、日本鰻の研究、育成、生産、販売をお勧めする。	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 若者でにぎわいをおこす 「若者が暮らしやすく出ていかないまち」とは、職場までの距離、リモートワーク場所としての評価、究極的には地元の就業先の存在。休日を楽しむ施設やコンテンツ、場所を含めた具体的な施策の実現が必要である。	3. 参考	重点プロジェクトにおいて、新たな雇用創出に取り組んでいくこととしております。その他のご意見につきましては今後の事業検討の参考にさせていただきます。
第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 地域と多様に関わる人々をおこす 2 基本施策 はぐくむ-3:観光産業をはぐくみます ・国内外の自治体や旅行代理店、インフルエンサーに向けたFAMトリップを企画実行し、市内在住外国人（有償ボランティアガイド）と、名張青峰高校のグローバルコミュニケーションA・B（選択科目）受講学生、多文化共生センター、市民有志団体や事業者等との産官学連携を促進する。 ・公益財団法人2025年日本国際博覧会協会が主催し、自治体へ公募する予定の大阪・関西万博のパッケージツアーへ参加し、伊賀・名張地域におけるインバウンド需要を喚起する。	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきたいと思っております。
第2章 基本計画 2 基本施策(全体) 「動詞のひらがな表現」は、「判り易く」、「訴え易く」、良いと思う。但し、最近のSNS受発信と同様、主語、目的語のはっきりしなくて、誤解を生む可能性もあると感じる。これは、村仲間や家族などの熟成したコミュニティ内なら有効。今後は、各種集まりで、その動詞に対しての、様々な主語・目的語を入れてみる議論の会、気楽に言えばゲームをやって、夢とイメージを膨らませて、市民共有していくのが有効かと思う。 例えば、 ・高齢者の捨ててきたものと、中学生の夢で、新世紀・新生名張の夢を「はぐくむ」。 ・僕らの小学校で、宇流富志祢神社に、春日の森を「つくる」。 ・高校生がお芝居を見せて、高齢者の日々の楽しさを「ささえる」。 ・住宅団地住民、旧町の空家に移住で旧町に賑わいと文化を「まもる」。 ・江戸時代の歴史を学んで、桔梗が丘一帯の景観を「ととのえる」。 ・住宅団地住民と旧町住民と一緒に、城下川の清掃活動を「すすめる」。 ・市民で、名張川下流、奈良県の河原のごみ拾いで、県外地域と友情を「つなぐ」。 	3. 参考	施策を含め、総合計画を策定する議論において、具体的な表現よりも、例えば若者の柔軟な発想や様々な方の創造性等をもって、名張市をより良くしていく点を考慮した構成としております。いただいたご提案は、今後の事業検討の参考にさせていただきます。

市民等の意見の概要	区分	回答案
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-1:全ての子どもを健やかにはぐくみます 私の子育ての時期に名張へ戻ってきた10年前頃から名張版ネウボラは聞いていたが、まだまだ実現にはほど遠いと思う。子育て支援センターかがやきをよく利用していたが、最近出産した友人の中には、かがやきを知らない人がおり、すぐに職場復帰するのだからかがやきを利用している人も期間も限られる。また、車がないのだからかがやきに行けないと話すお母さんもいた。子どもを連れて、駅から歩いてかがやきまではとても大変である。せめて駅からかがやきまでのバスでもあればと思う。名張の交通の不便さは、若者だけが感じているわけではなく、母親世代も感じている。自分が年老いたら、名張に住むのはキツイなと思うし、我が子が大きくなったら、名張に住みたいと思うか疑問である。具体的には交通の不便さに対して、いつ頃、どのようにしていくのか明確にしてもらいたい。また、それに対しても市民の意見を取り入れてほしい。</p>	3. 参考	交通問題については、26ページの「ひととひと、まちとまちを交通環境でつなぎます」で取り組んでまいります。本計画は、今後取り組んでいく方針を示すものと位置付けており、関連する計画等で事業や取組を示すこととしております。市民の皆さんのご意見もお聴かせいただきながら、交通関係の施策に取り組んでいきたいと考えております。いただいたご意見は今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-1:全ての子どもを健やかにはぐくみます 子どもが小学校へあがったら、学童で困りごとが発生した。子どもの人数が多いから、「親は正社員が優先」、「長期休暇の時のスポット預かりはしていない」、「小学4年で学童を辞めなければならない」との実情を知った。私はパート勤務であるが、長期休暇の際に学童に入れないので、やむを得ず仕事を減らしたり、子どもだけで留守番をさせなければならなくなった。子どもが小学生になった途端にとっても生活しづらくなった。</p>	3. 参考	放課後児童クラブ（学童保育）では、雇用形態に関係なく昼間保護者が仕事などにより留守になるご家庭の児童をお預かりしています。しかしながら、クラブによっては施設スペースによる定員の関係から希望児童が多い場合はやむを得ず児童の学年や家庭状況などによりお断りする場合があります。引き続き、子育て世代が安心して生活していけるよう取り組んでいきたいと考えております。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-1:全ての子どもを健やかにはぐくみます 15ページに追加希望。「整備された公園ではなく、こどもたちが火や水を使い、自然に能動的に働きかけ、様々な作業もできるプレイパークを作り、職員を配置し、同時に不登校の子の居場所にもなるような場づくりについて、各地の先進的な例（川崎の夢パークなど）を研究し、よい面をとりいれていく。」</p>	3. 参考	新型コロナウイルス感染症の流行等数年で社会の流れが大きく変化しました。そういったことから、変化に対応しながら施策を推進する必要があると考えており、施策推進のための具体的な取組は、本総合計画策定後に年度ごとに判断し、進めていきたいと考えております。いただいたご意見は今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-1:全ての子どもを健やかにはぐくみます 保育園やマチの保健室などの設備について、保育園の保育士さんとはどの方も素晴らしくて、感謝しかない。ただ、市立の保育園は建物が古いのがどうしても気になる。あとまちの保健室も、私は育休中にあまり利用する気にはなれなかった。どのタイミングで行っていいのかもよくわからなかった。名張に家を買っているのだから子どもたちのためにもっと子育てで世代が増えて活気のある街にしたいと思う。保育園、病院、学校がきれいなことは重要かと思う。高齢者の施設は建設ラッシュだが、子どもの施設も、かがやきみたいな施設や公園などももっと欲しい。</p>	3. 参考	ご意見ありがとうございます。今後の運営の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-1:全ての子どもを健やかにはぐくみます 子どもの権利の保障と書いているが、これは「子どもの権利条約(児童の権利条約)」のことか。名張市において子どもの権利の保障がない。国連子どもの権利条約を遵守するための名張市政であってほしい。離婚家庭の子どもたちが双方の親から養育される権利の保障をお願いしたい。親子が引き離されない権利の保障も。保育園、幼稚園、小学校、中学校の運動会、授業参観、入園式、卒園式、入学式、卒業式に両親が別居したから離婚したからというだけの理由で出席を拒否したり、差別をして排除しないでいただきたい(現在の名張市では、別居した親、親権を失った親を排除している現状がある)。大人の意見ではなく、子どもの立場(子どもの権利条約)に立って子どもたちを守り、育んでいてほしい。</p>	3. 参考	本市では、次世代を担う社会の宝である子どもの権利を保障し、心身ともに健全に育むことを目的とした「名張市子ども条例」を平成18年に制定しました。この条例に基づき、子どもの健全育成に関する基本計画「ばりっすすくすく計画」を策定し、子どもに関わる施策の推進に全庁的に取り組んでいます。いただいたご意見を今後の施策の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-1:全ての子どもを健やかにはぐくみます はぐくむ-2:学校で元気な「ばりっす」をはぐくみます 福祉サービス(放課後デイサービス)を利用している児童生徒の中には、発達障害や身体障害を抱えているにも関わらずさくろ教室に入れない子が複数いる。また、保護者にとってもひとり親家庭で実家とは住居を異にしている場合、経済的貧困が深刻な問題となっている。公立学校においては、スクールカウンセラー(S C)・スクールソーシャルワーカー(S S W)等を選択できる機会を増やしたり、学童保育の保護者会の権限を強化し意見を市政に取り入れられる体制を取る事、他自治体の先進的な事例や包括的な支援方針・項目を取り入れた新たな支援シート作成などでチーム学校の意識と仕組みづくりが必要。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-2:学校で元気な「ばりっす」をはぐくみます 中学校給食については、私の子どもの頃からもう何十年も検討されていると思う。まだあと5年もかかるのかという印象である。我が子も中学校給食の恩恵にあずかれるかギリギリといった状況である。何となく2年以内くらいに実現させてほしい。寄付を募ってはどうか。雇用を生むこともできずし、地産地消で地域に還元できるのではないか。</p>	3. 参考	中学校給食の実現については、予算だけでなく、様々な検討が必要であり、現在早期実現に向けて取り組んでいるところです。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-2:学校で元気な「ばりっす」をはぐくみます 16ページに追加希望。「機会をみて、和歌山のきのくに子ども学園や京田辺のシュタイナー学校のような「オルタナティブな小中学校」を積極的に誘致する。」</p>	3. 参考	多様な子どもの居場所があることは良い事と思います。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-3:観光産業をはぐくみます 観光産業と言えば、全然名張には目立つたものがなく、観光にわざわざ来ないと思う。平日に赤目滝の方へランチに行った際、お土産屋さんで子ども閉まっていてびっくりした。もっと活気あふれる名張にしてみたい。具体的に観光戦略として、映画のロケ地誘致や、近年のキャンプ人気に合わせて、そういった場所をつくったりしてはどうか。</p>	3. 参考	赤目四十八滝については、年間10万人以上の方が観光に来ていただいております。現在、竹灯りプロジェクトとしまして、竹の灯りで滝をライトアップし集客の増加につなげております。本総合計画におきまして、観光については重点プロジェクトとして位置づけ、今後の施策展開や具体の事業推進に取り組んでいきたいと考えております。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-3:観光産業をはぐくみます 滞在型にするには、先ず随より始めよということで、市長宅、市議会議員宅、市の職員宅などを民宿とするという案はいかがか。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-3:観光産業をはぐくみます つくる-3:農業・農村の新たな価値をつくり出す ととのえる-2:活動や憩いの場となる緑地や公園の環境をととのえます 観光産業にもっと力を入れて入れてほしい。名張市は他にはないお花の名前の地域名が多いのが魅力なので、それを上手く用いて観光を盛り上げてほしい(例:桔梗が丘であればキキョウの花畑、梅が丘であれば梅の木、百合が丘であれば百合の花畑など)。お花や木だけではなく、観光地として周辺に公園や河川敷を設けてほしい。より自然と触れることで住環境も良くなると思う。お花や木を育てる農家やその周辺整備を募集するなど、雇用も充実すると思う。もちろん、莫大なお金がかかることは承知しているが、自然を上手く利用した観光・雇用・環境を整えれば良い投資になると思う。</p>	3. 参考	観光産業については、本計画で重点プロジェクトに位置付けており、力を入れていく分野となっています。「産業をおこす」の項目では、地域産業の活性化、新たな雇用の創出が取組内容となっております。様々な取組を行い産業分野の活性化に取り組んでまいります。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-4:経済をささえ、はぐくみます デジタル地域通貨というのはいかがか。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-4:経済をささえ、はぐくみます 「取組の内容」の3つ目の「若者をはじめとする多様な雇用を生み出す就業機会、新たな雇用の創出に取り組みます」について、具体的にどのような手段で新たな雇用の創出等に取り組むのかよくわからないので、例えば更なる企業誘致や若者の起業支援など、手段についても明示してはどうか。</p>	3. 参考	「若者をはじめとする多様な雇用を生み出す就業機会、新たな雇用の創出に取り組み」においては、関係団体や移住・定住部署とも連携し、就労支援や起業・創業につながる支援をしていきたいと考えています。また、企業誘致に関しては、市有の工場用地がないことから、新たに進出希望の企業に対しては、その進出機会を逃すことなく、テレワーク、サテライトオフィスの活用促進をはじめ、空き用地、空き施設等への誘致活動を進めていきたいと考えています。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-4:経済をささえ、はぐくみます 18ページの「中小企業の持続性を高める経営強化に取り組みます。」に続いて「市内の中小零細のお店・サービス業を守るために、地域通貨の研究をはじめ、市民ができるだけ市内でお金を使うことのメリットを作り、市内でお金が循環するように応援する」を追加希望。</p>	3. 参考	本施策については、域内循環も視野に入れ、取組を進めていきたいと考えております。施策推進のための具体的な取組は、本総合計画策定後に年度ごとに判断し、進めていきたいと考えております。いただいたご意見は今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむ-6:協力者、関係人口を増やし、「名張」らしさをはぐくみます 「取組の内容」の2つ目に「関係人口の増加に取り組みます」とあるが、どのように関係人口を増やそうとしているのかという具体的な手段がわからないので、例えば名張市ファンの登録制度を設けるなど、手段についても明示してはどうか。</p>	3. 参考	関係人口については、一例をあげますと、名張市のファンを増やすということになります。手法については、1つに絞ったものではなく、例えばSNSでの発信やシティプロモーション、他にはクチコミ等様々な方法で名張市に関わる方(関係人口)を創出する取組となります。ファンの登録制度もその方法の1つでありますので、今後の事業検討の参考にさせていただきます。

市民等の意見の概要	区分	回答
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー1:地域の保健・医療・福祉をつなぎます ・市外にセカンドオピニオンを求める市民に対する情報提供、費用の支援。実際に自分が中学生の時、母親が乳がんになり市内医療機関では手術後に陰性と診断されたが、手術・放射線治療を行った大阪のセカンドオピニオンへの通院に係る交通費が家計を圧迫した経験がある。 ・名張市看護学校や名張市立病院にオンブズマン制度を導入し、第三者の目線から医療提供体制の検証と改善に参加出来るようにする。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー1:地域の保健・医療・福祉をつなぎます すすめるー1:消防・救急体制の強化をすすめます ささえるー1:市民の健康をささえます ささえるー2:地域の医療をささえます ささえるー3:高齢者の安心した生活をささえます 22、35、40、41、42ページなど、健康・医療・介護などをそれぞれの項目でバラバラに表記するだけでなく、それをつなぐものとして、名張市立病院を核とした健康・医療・介護支援の総合施策を打ち立てる必要がある。また、休日診療所と名張市立病院の関係を強化し、しっかりサポートできる救急体制の構築が求められる（新岡波総合病院と救急外来のような）。</p>	3. 参考	健康・医療・介護の一体的な推進については、「高齢者の安心した生活をささえます」の施策において、高齢者の地域での生活支援に向けて、市立病院を含め、地域の医療や健康づくり、介護予防の一体的な推進に取り組む方針を位置付けています。 急速に高齢化が進む中で、地域の限られた医療資源を有効に活用し、引き続き、在宅医療支援センターにおける情報共有や多職種連携に取り組むとともに、今後の市立病院の在り方や経営に係る審議の方向性等も踏まえる中で、地域における救急医療や在宅医療・介護までの一連のサービスの総合的な確保や、市立病院と連携した在宅医療救急システムの推進など、地域の医療機関への支援体制の整備等について検討を進めます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー2:文化をはぐくみ、次世代につなぎます はぐくみ次世代に繋げる文化とは「生活文化＝衣服・住居・食・遊・社会」であり、細分化して、わが市の文化を見つめなおす必要がある。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー2:文化をはぐくみ、次世代につなぎます 23ページの二項目目の後に、「文化祭の充実を力を入れ、名張にいながらにして、多様な文化に触れる機会をつくり、文化の街名張として、知名度をあげていきます。」を追加希望。</p>	3. 参考	伝統文化や文化財等を活用した施策だけでなく、若者の文化事業への参加など市民文化を育んだ魅力的なまちづくりを目指しています。いただいたご意見は今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー4:持続可能な住民自治を未来につなぎます つなぐー5:ひととひと、まちとまちを交通環境でつなぎます ・桔梗が丘、箕曲などのSNSにおける情報発信に先進的な地域を参考に、若者ならではの目線とスキルから街づくりに関わってもらえるような役割を与え、支援していく。定款を読んだり、青年部というに関心を持ってなかったりプレッシャーに感じる人が居るかもしれないので、まずはコミュニティサロンやイベント、ジュニアリーダーを育成していく。 ・近鉄、三重交通と連絡調整し、観光客と地域住民の交通機関に対するニーズを調査分析し、特急利用者をメインターゲットとした日中の一部ダイヤを是正する。上下分離方式のオンデマンドバスの検討開始。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー6:ひととまちを次世代につなぎます 27ページの三項目目の後に、「海外の姉妹都市を増やし、留学などの人的交流、産業の交流にとりくみます。」を追加希望。</p>	3. 参考	新型コロナウイルス感染症の流行など直近の数年で社会の流れが大きく変化しました。そのようなことから、変化に対応しながら施策や事業を推進する必要があると考えており、施策推進のための具体的取組は、本総合計画定後に年度ごとに判断し、進めていきたいと考えております。いただいたご意見は今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つくるー3:農業・農村の新たな価値をつくります 「取組の内容」の2つ目の鳥獣害対策に関し、記述の修正を求めるものではないが、持続可能で有効な鳥獣害対策として、津市美杉町で試みられている「鹿追犬」の取組を名張市でも導入・推進することを検討してはどうか。</p>	3. 参考	ご意見いただきました「鹿追犬（ディアドッグ）」につきましては、本市では、狩猟対象鳥獣である鹿については、捕獲駆除を念頭に対策を進めておりますので、今後の参考にさせていただきます。 本市においては、平成21年度から奈良県宇陀市と共同でモンキー犬を育成しており、サル群（名張A群（つつじが丘、比奈知、青蓮寺等）・名張B群（錦生、名張竜口、奈良龍口等））の行動域を中心に、モンキー犬を育成・認定をしています。 また、平成23年度からは、一定の要件を満たしたモンキー犬については、広域認定を行い、宇陀・名張モンキー犬倶楽部と協働して活動しています。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 すすめるー2:未来を見据えた社会づくりを支える適正な土地利用をすすめます 秩序ある土地利用の是非について方向性は賛成である。名張市全体の現状を客観視し、15地区あるいは7ブロック（※）の全体計画が必須である。市民、住民が望む施設への転用、あるいは区画整理事業による再生が必要と感じる（例：観光地赤目の玄関口である駅前と四十八滝までの狭小な道路事情、駐車場の不足の解消等）。※7つのブロック（現形態を見た上での戦略的方向づけが必要） 1. 旧「初瀬街道」と「名張街道」沿いの名所、神社仏閣、古民家及び商店街 2. 公民館、青少年センター、保健センター、産業振興センター等の生活公共機関沿道 3. 165号線沿いの「市役所」「警察署」「中央公園」「工業団地」等のはりつく目抜き通り 4. 平尾山カルチャーパーク、図書館を有するカルチャーエリア 5. つつじが丘、桔梗が丘、百合丘、梅が丘、富貴ヶ丘、春日丘、緑が丘等丘陵地に点在する住宅エリア 6. 赤目、青蓮寺等の観光と里山のエリア 7. 田畑と古墳群の存在する東の玄関口「美旗」エリア</p>	3. 参考	名張市は小学校を単位とした15の地区を単位とした、地域づくり組織を立ち上げ、各組織では地域の将来像として「地域ビジョン」を策定いただいております。ブロック分けの提案につきましては、今後の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 すすめるー2:未来を見据えた社会づくりを支える適正な土地利用をすすめます 36ページの三項目目の後、「市民及び市外の人が、家庭菜園より一回り大きな規模で、自給自足的に畑を借りて、農作業ができるようにします。」を追加希望。</p>	3. 参考	農業関係については、31ページの「農業・農村の新たな価値をつくります」の施策において取組を進めることとしています。いただいたご意見は今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 すすめるー3:社会変化に対応した行政改革とデジタル改革をすすめます 住民自治やボランティア活動に頼りすぎると、名張市職員の弱体化が起こる。限られた財源、資金不足を嘆いてはダメである。多くの中小企業では資金不足は当たり前である。そこでは知恵を出し、血のにじむような努力をして、血税を納付している。その血税を使っている市役所が金がない金がないと言わないでほしい。財源が無くても、知恵を出して進められることは多くある。若手の名張市職員を中小企業などへ出向させて、その仕事をリスキリングの一環として体験させてみてはどうか。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 ささえるー2:地域の医療をささえます 小児医療や産科について、私は奈良医大で出産した。市立病院の小児科もお世話になっているが、本当に高齢者優先につくられた感がある。小児科が1番入り口から遠くにあるし、待ち時間も長い。もう少し敷居を低くしてほしい。</p>	3. 参考	ご意見ありがとうございます。今後の運営の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 ととのえるー1:生涯スポーツができる環境をととのえます 市民プールも温水プールにして、子どもから大人まで年中利用できるようにしたら、生涯スポーツの1つになると思う。そういった施設が整っている場所なら若い世代もずっと住みたいと思えるのではないか。身近に水辺はあるけれども、それを十分に生かした生活はできていないと思う。観光にも結び付きそうなのに。遊具のある公園も少ないし、カルチャーパークのように芝生が広がった場所もほとんどない。もっとそういった場所を増やすべきである。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>計画素案全体について 全体に具体策が少ない。名張のブランド戦略の一案について、まずは鉄道沿線のブランド化が必要と考え、「名張市未来創生へのアプローチの1提案（※）」を提案する。 ※「4つの駅前をブラッシュアップする」として、各駅の特徴や方向性の仮説、現状評価等の整理、創生に向けた効果イメージを提案。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>計画素案全体について 資産の有効化。老朽化する既存施設の利用者の拡大策が必要と思う。既存公共施設の棚卸しを行い、利用者を増やす具体的取組が必要である。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>計画素案全体について 都市計画と15の地域の施策の連携、現状のブロック用途（住宅地、商業地、工業団地、公共施設、里山・農業地域、観光地域など）の客観的評価による用途変更も含めた再生計画が必要と思われる。例えば、桔梗が丘駅前の空きビル・空き地の利活用のためには、商業以外の用途も検討すべき。</p>	3. 参考	桔梗が丘駅前に関しては、地域と連携しながら所有者との協議を行いたいと考えております。その他のご意見につきましては今後の事業検討の参考にさせていただきます。

市民等の意見の概要	区分	回答案
<p>計画素案全体について 地域を計画する時には、「①当該地域の主人公」「②時間単位（ターム）」「③空間の規模（エリア）」の3大要素があると考えている。 ①当該地域の主人公 「若者」が計画文案の中には頻発で、その通りであると思うが、果たして、その一語だけの強調でいいのか。周りには、快適、安全に暮らしたい元気な高齢者がいっぱい。若者もそうした高齢者を見て、自らの未来も見えるのではないか。私の住む町には若者が住んでいない。もうじき、無くなりそうである。そして、その状況は、旧町や住宅団地などの全域に広がっていくだろう。町の主人公、先ずは、高齢者を第一に。そして、「若者」と一括りにしても、小中生、高校生、大学生以降の青年、働く青年、それぞれの想いが様々だろう。それを若者一括りで、議論放棄ではないか。同世代、よく似た文化志向で暮らしてきたとも言えるが、「二十歳の若者」と言っても、今の二十歳と、50年前の二十歳とは、志向が違ふと思う。高度成長期の二十歳が志向したことは、名張の人口増・開発だっただろう。そして団地移住。豊かさとは。安定とは。楽しさとは。つまり、志向する文化による主人公の分類が必要だと考える。名張の公共下水道導入時には、人口目標20万人だったはず。900年続いたと言われる過剰否定のアイヌの文化も、多いに参考にすべきかも。「名張でのアイヌ暮らし」。真に安定して持続の名張の人口は5万人位ではないだろうか。 ②「時間単位」（ターム） 「目指す10年後」とあるが、先ずは10年でいいのか。もっとも、、20年、30年、50年を見据えての10年ということではあると思うが、それは逆だと思う。間もなくやって来る10年先は、目指す50年後への同じ途上でないといけない。つまり、せめて「目指す50年後の姿」を、先に議論してほしい。その50年後を探るには、10年前、20年前、30年前、50年前の、もっと言えば、ある意味、わが国初の安定の江戸時代のキーワード探しも必要かもしれない。 ③「空間の規模」（エリア） 勿論、130km²の市域全域対象ではあるが、「名張の顔でありヘソ」であるのは今も旧町。それを囲む田畑（今はほとんど見られない。アパート群に変貌したが）、そして取り囲む名張川。その外の旧村落部、山間地と言う構造。市域外に広げての構想。河川流域圏、自然生態域、文化交流域。この段階構想は、②の時間の段階ともよく似てる。 この上記、①、②、③の視点でも、今回の総合計画（素案）を、眺め返してほしい。</p>	3. 参考	ご提案ありがとうございます。今後の事業検討の参考にさせていただきます。
<p>第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 地域と多様に関わる人々をおこす 13ページの「関係人口をおこす」ことで、どのような波及効果があるのかイメージしにくい。</p>	4. その他	人口減少が見込まれる現状において、本市でも人口減少対策に向けた取組を進めていますが、担い手不足等の対策も必要となってきます。そのような中、少しでも名張市、また、地域に関わる人を増やし地域活性化を図るとともに、移住・定住につなげたいと考えております。
<p>第2章 基本計画 1 重点プロジェクト 地域と多様に関わる人々をおこす 2 基本施策 つくるー1:多様性を認め合える男女共同参画と多文化共生のまちをつくります 昨今の日本の人口推移、特に労働人口の減少は大きな社会問題の一つである。様々な社会問題の根底にある最も重要な原因といっても過言ではない。この問題は、日本に限らず、先進国の避けることのできない共通課題でもある。各国は、それを自国だけでなく、近隣諸国や国単位での協力関係をもって、解決の糸口を探っている。わが国も、ようやく「特定技能」という新しい在留資格を設け、労働者減少を自国だけでなく、他国を含めた世界共通の問題解決策と捉え、進め始めた。しかし、現実にはまだまだ整備されておらず、労働力を補う手立てとは至っていない。この最重要問題は、国主導では物足りず、当然地方自治体も、自分たちの身近で、一番困っている人材不足問題の改善・解決策をもう少し真剣に考えていく必要があるのではないか。どの産業でも、人材不足、後継者不足は深刻な状況である。特に、建設業・農業・介護について、顕著である。各地方自治体が、国レベルではなく、地方都市レベルで、もっとミクロな動き方で、より具体的に進めていく必要があると考える。人口減少という物理的な問題は、人を物理的に動かすことが最も有効な手段であり、各国の施策もこの原理原則に従った上での判断だと想定される。人を動かす上での、送り出す側の整備、受け入れる側の整備、一番大切な人材の整備等々、今からすぐに手を打っていかねば、どんどん問題を先送り、次世代、そのまた次世代へと傷口を広げていくだけではないか。「まちの将来に主体的に関わる人を増やす」、外国人もその一端を担うイメージを共有し、その景色をつくる、名張市が、先駆けて取り組む新時代戦略ではないか。当組合は、その具体的な取組の第一弾として、インドネシアから実習生を受け入れ、名張市内の企業へ送り込んでいる。また、名張市地域環境室、名張市多文化共生センター、名張警察、あかめ里山文化保全会の協力のもと、受け入れる側としての整備を進めている。しかし、このような取組は、本来、行政と一体となって進めていくことだと考えている。なぜなら、このような取組が、名張地域の社会的問題の解決（人材不足解消、地域の保全活動、空き家対策、衣類・家電等々のリユースなど）に直接つながっているからである。なにより新時代戦略としての総合計画に、ぜひ「外国人とともにつくる新しい景色」を加えていただきたい。</p>	4. その他	まちの将来に主体的に関わる人については、国籍を問わず関わる方を増やしていきたいと考えております。人材不足の解消についても、デジタルの活用等様々な角度から取り組んでいきたいと考えております。あらゆる取組を通して、より良い名張市になるよう推進していきたいと考えております。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむー1:全ての子どもを健やかにはぐくみます はぐくむー2:学校で元気な「ばりっ子」をはぐくみます ささえるー1:市民の健康をささえます 子育てで大事なのは食事だと思う。1日1食でも栄養バランスの取れた給食を食べるだけでも保護者も助かると思うので、小学校だけではなく保育園（所）・幼稚園と中学校全ての給食義務化を実施してほしい。</p>	4. その他	食育の推進については本計画においても重要であると考えており、「市民の健康をささえます」の施策において、「朝食を食べている児童・生徒の割合」を評価指標に設定し、取組を進めます。保育所（園）・幼稚園につきましては、一部お弁当を持参いただく日を設定している施設もありますが、本年度末で閉園となる市立幼稚園を除き、現行も給食対応を行っています。中学校給食においては、学校で元気な「ばりっ子」をはぐくみますの施策において現状と課題に掲載させていただいており、現在早期実現に向けて取り組んでいるところです。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむー2:学校で元気な「ばりっ子」をはぐくみます 小学校高学年での教科担任制も再雇用の先生が年配すぎたまにトラブルが発生している。経験豊富で頼れる先生だと思うが、現在の教育内容、指導方法をしっかりと理解している方に限してほしい。</p>	4. その他	教育内容、指導方法の理解については、年配の先生だけでなく、全教師について指導させていただくことであります。また、個別のトラブルにつきましては、各学校にご相談いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむー3:観光産業をはぐくみます 17ページの目標値の根拠が知りたい。</p>	4. その他	国連世界観光機構、国際航空運送協会、JTBの旅行市場予測、三重県の観光統計などに基づき、令和6年度に令和元年度実績とほぼ同程度まで回復させるとし、最終目標の令和8年度に向けてどういった取組に注力し、どれだけの上積みを行うかという観点で、有識者や市内観光事業者らで組織する名張市観光戦略会議において議論し決定しました。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむー3:観光産業をはぐくみます 関西万博の来場者を呼び込むために多くのお金を使うのは反対である。大きな期待をすべきではないと思う。</p>	4. その他	大阪・関西万博は、観光をはじめ市内経済活性化に向けた機運の醸成を図っていくための契機となるのは確かであり、観光誘客のみならず、万博終了後も見据えた持続可能な市内産業の基盤づくりに向けて、可能な限り効果的な方法で成果を上げられるよう取り組んでまいりたいと考えております。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむー3:観光産業をはぐくみます 「取組の内容」の1つ目に「マーケティングに基づく良質な商品とサービスの充実に取り組みます」とあるが、「良質な商品とサービスの充実」に取り組むのは観光事業者であり、市の役割はその支援なのではないかと考えるので、「マーケティングに基づく良質な商品とサービスの充実の支援に取り組みます」などとしてはどうか。</p>	4. その他	総合計画の観光施策の具体的な取組は、現在見直しを進めています「名張市観光戦略」に基づき進めることとしております。当該戦略を実現させていくための主体は行政だけでなく、観光関連団体、事業者などあらゆる関係者であると位置付けているため、このような表現としています。なお、「名張市観光戦略」では、行政が民間に対して行う支援などについて個別に記載しています。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむー3:観光産業をはぐくみます 「取組の内容」の2つ目の「おもてなし環境の充実」について、「現状と課題」の3つ目の○を踏まえると、公衆トイレの整備等を想定しているのかとは思いますが、「取組の内容」の記述だけでは中身が全然わからないので、その具体的な内容を例示してほしい。</p>	4. その他	総合計画の観光施策の具体的な取組は、現在見直しを進めています「名張市観光戦略」に掲げるものとしております。ご意見をいただいた「おもてなし環境の充実」においては、「安心・安全の観光地づくり」、「観光客の受入れ環境の整備」、「訪日外国人の受入れのための環境づくり」の3つの方針に基づき公衆トイレの適正管理やキャッシュレス決済導入促進など、ハードとソフトの両面から充実を図ることとしています。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 はぐくむー6:協力者、関係人口を増やし、「名張」らしさをはぐくみます 「取組の評価」の「評価する内容」には、市外の「関係人口」に関するものがないので、何らか市外の「関係人口」に関する評価指標も設けるべきではないか。</p>	4. その他	関係人口を増やすことが、最終的には定住人口を増やすことにつながると考えています。行政主体の事業や地域の取組だけでなく、市民の皆さんがそれぞれに市外の方々と関わることで関係人口が増えていくと考えており、その仕掛けや仕組みづくりが重要と考えております。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー4:持続可能な住民自治を未来につなぎます SDGs 11のカテゴリーだけでなく、SDGs 1や3, 4, 5, 10, 16, 17なども位置付けるべきではないか。</p>	4. その他	各施策のSDGsの項目については、169のターゲット目標と主な取組内容を照らし合わせ、作成しています。また、17の項目については、すべての項目に当てはまる項目であることと、グローバルな内容となりますことから包括適用とし、個別適用はしていません。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つなぐー6:ひととまちを次世代につなぎます マッチングアプリや街コンなどの出会いを促進・支援するという項目も重要かと思う。地域経済の活性化、企業と自治体との連携強化やIT化、人口と財源の確保に繋がることだと思う。</p>	4. その他	マッチングアプリや街コンなどの出会いを促進・支援するという項目につきましては、県の出会いサポートセンターと連携し、相談会を実施し、また、婚活イベントにつきましても昨年度に引き続き本年度も令和5年2月に実施させていただく予定となっております。様々な取組でひととまちを次世代につなげていきたいと考えております。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つくるー4:環境負荷の少ない社会をつくります 標題について、脱炭素社会をつくる、という積極的な表現を付け加えたらどうか。例えば、「環境負荷の少ない社会、脱炭素社会をつくります」。</p>	4. その他	施策名につきましては、脱炭素に限らず、様々な環境負荷となる要因がありますことから、「環境負荷の少ない社会をつくります」とさせていただいております。また、脱炭素社会は重要な要因であることから、「この施策で目指すもの」及び「現状と課題」で、「脱炭素社会」について記載し、今後も引き続き、対応していく計画としております。
<p>第2章 基本計画 2 基本施策 つくるー5:風土と暮らしが共生する魅力ある都市をつくります 33ページの一項目目の後に、「電磁波過敏症の人が増えていることに配慮し、携帯基地局のない電磁波の届かないエリアを意識的に確保します」を追加希望。</p>	4. その他	名張市の携帯電話等の基地局については、東海総合通信局が管轄しておりますことから、いただいたご意見につきましては、機会がありましたら東海総合通信局にお伝えさせていただきます。

市民等の意見の概要	区分	回答案
第2章 基本計画 2 基本施策 すずめるー3:社会変化に対応した行政改革とデジタル改革をすすめます 行政のデジタル化だけでなく、デジタル田園都市構想との関係で、どのように位置づけ、デジタル社会をつつていくのか。デジタル田園都市構想について名張市の考え方を教えてもらいたい。	4. その他	デジタル田園都市構想については、地方の社会課題を解決するためにデジタル基盤や人材の育成などを国が進めている構想となります。デジタル分野を含め様々な手法で地域課題の解決に向けた取組を進めることが、より良いまちづくりになると考えております。令和4年12月23日に閣議決定されました「デジタル田園都市国家構想総合戦略」等も踏まえながら、本市の具体的取組検討、その推進を図りたいと考えております。
第2章 基本計画 2 基本施策 すずめるー3:社会変化に対応した行政改革とデジタル改革をすすめます 国はデジタル庁を設けているが、名張市においても、デジタル室を設置してはどうか。市役所や市立病院の業務を効率化し、生産性を上げる必要がある。その方法・施策としては、経済産業省HPの商務情報政策局 情報技術利用促進課などにて詳しく提示されている。また、近場では、近畿経済産業局などでの講座が開かれている。	4. その他	令和5年度に行政・デジタル改革推進室を設置し、関係する施策や事業の取組を予定しています。
第2章 基本計画 2 基本施策 すずめるー4:持続可能な財政運営をすすめます 「取組の評価」において、経常収支比率など財政の弾力性についての評価指標も加えるべきではないか。	4. その他	経常収支比率は地方公共団体の財政構造の弾力性を表す指標で、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に、地方税・地方交付税・地方譲与税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを比率で示すもので、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表しています。計画の本文中においても「経常収支比率や将来負担比率は依然高い状況が続き、財政構造の弾力性を欠いた中で重い将来負担を抱えています。」と記載しており、大変重要な指標と認識していますが、計画の評価指標については経常収支比率が高い要因にもなっている公債費の削減など、本市の最大の財政課題である将来負担の軽減を意識し、市債に依存した財政構造の転換と財政規律を重視した財政運営に取り組むための指標に絞って、市債残高（臨時財政対策債を除く）と将来負担比率を選択したところです。
第2章 基本計画 2 基本施策 まもるー1:みんなの人権をまもりまします 名張市においても、パートナーシップ制度を導入してはどうか。	4. その他	令和4年9月1日に三重県において「三重県パートナーシップ宣言制度」が開始されました。名張市においては、三重県の制度に基づき運用をさせていただいております。
第2章 基本計画 2 基本施策 まもるー2:犯罪や交通事故からまもりまします 名張市の信号機のない横断歩道での一時停止率を3～5年で全国市区町村の中でNo.1にすることを提言させていただきます。	4. その他	横断歩道は歩行者優先であり、運転者には横断歩道手前での減速や停止の義務がありますことから、交通事故から市民を守るために引き続き各関係機関と連携し、交通事故の防止に取り組んでいきたいと考えております。
第3章 地域別計画 地域別計画について、良い取組であるが、資料を見ても分かるように地域格差があり過ぎる。近隣地域ではあんなこともしてるのに、ここはしてないと思うことも多い。人数の少ない地域もそれなりにできることが限られてくるだろうし。近隣地域で合同で取り組んで、お互いに助け合うことも必要だと思う。まず仕組みもわからないし、どこでどのような方が、どのようにして何に取り組んでいるのか、予算はどうなっているのか、知りたい。	4. その他	地域別計画は、各地域づくり組織において策定いただいております「地域ビジョン」と総合計画をつなぐものとして位置付けております。各地域がそれぞれに特性を生かしたまちづくりに取り組んでいただいております。また、地域間の連携も大事だと考えており、今後の取組の参考にさせていただきたいと思っております。地域づくりに関する資料については、名張市ホームページの「名張流地域づくり」のパナー内に掲載させていただいておりますので参考にしてください。
計画素案全体について 今回の素案が抽象的で、計画概要がわかりにくい。	4. その他	本計画は基本構想であります「基本理念」、「目指す10年後の姿」の実現に向け、行政、市民、本市に関わる方が、それぞれの立場で、それぞれができることを行っていたいただき、名張をより良くしていく、まちづくりの指針としております。本計画は、市内の学校でも使用いただき、名張の将来について考えていただくような視点も取り入れております。様々な視点や取組によりまして、名張の活性化を図りたいと考えております。
計画素案全体について 個々の素案について予算・規模等不明であり、且つ実績評価についても客観的でない。	4. その他	本計画は行政のみの計画ではなく、基本構想にて「基本理念」、「目指す10年後の姿」を設定し、その実現に向け、行政、市民、本市に関わる方が、それぞれの観点から本市の活性化に取り組んでいただくための指針としていることから、個々の予算、規模は明記しておりません。実績評価につきましては、各施策の取組を評価する指標として「取組の評価」として数値目標を設定し、引き続き行政評価の取組として、毎年度実績の評価を行ってまいります。
計画素案全体について 評価者は、行政担当者以外の第三者を選任するべき。	4. その他	本計画の評価は、数値を目標としており評価者はおりませんが、本計画の評価、また、行政担当者以外による評価も含め、令和5年度からの新たな行政評価の仕組みについて現在検討を進めております。
計画素案全体について 計画については優先順位をつけ、3年、6年、9年単位で実行可能とすべき。	4. その他	本計画は「基本構想を10年」、「基本計画を4年」としてしております。本計画は行政だけでなく、市民の皆さん、本市に関わる方に対しても、それぞれの観点から本市の活性化に取り組み、「基本理念」、「目指す10年後の姿」の実現に向け、あらゆる取組を進めていきたいと考えております。そのような考え方から、重点プロジェクトとして「産業をおこす」「若者でにぎわいをおこす」「地域と多様に関わる人々をおこす」を掲げておりますが、すべての施策において順位はつけていない構成としております。
計画素案全体について 成長性が欲しい。各地区も含め既に様々な素晴らしい取組をされているが、PDCAサイクルにより、より素晴らしいものへの昇華が必要と感じる。	4. その他	基本理念、目指す姿の実現のため、各施策に評価項目を設定し、進捗状況も管理しながらより良い名張市を目指し、取り組んでいきたいと考えております。
計画素案全体について 名張市は、過去も未来も「安全」「安心」を展開して街づくりするべきと考える。観光戦略や地域公共交通計画は、各論過ぎと考える。安全・安心な街とは、どんな街なのか、しっかりと展開することが必要と思う。	4. その他	新たな総合計画策定に向けて設置しました総合計画審議会において、「安全」「安心」については防災や防犯だけでなく、衣・食・住すべてに関わる基本であり基礎的なものであると議論を行いました。「安全」「安心」をベースとして、その上で本市をどうしていくのかという視点で審議を行い、現在の計画素案となりました。そのようなことから、基本計画及び地域別計画ともに、「安全」「安心」は基本的な考えとして作成させていただいております。いただいたご意見も踏まえ、しっかりと展開していきたいと考えております。
計画素案全体について 全体的に、アンケート結果は思ってるより不満が少ないが、詳しくみていくと不満も多いはずである。どうかもっと住みよい、名張にしてもらいたい。もっと真剣に、早急に動かないと、人は今後も減り続けると思う。	4. その他	満足度の向上を目指し各施策に取り組んでおりますが、不満を感じている方もいらっしゃいます。アンケート結果は、その時点での一つの指標として活用させていただいておりますが、引き続き、ご不満の方のご意見も踏まえながら、満足いただける方がより増えるよう各種取組を進めてまいります。
計画素案全体について 名張の良さは自然が豊かな感じとそこに住むホテル、サル、鹿などと共存しようと努めているところと、そんな散歩をしたくなるまちだからか、元気な高齢者が多く、気持ちが若い人が多いこと、地元で作っている新鮮な食材や空気が良いと思う。歴史を感じる建物があったり、つくろうと思ってもつくりだせない良さがあるものが、壊れず魅力が良い形で表されたら良いなと思う。	4. その他	市民等がそれぞれに名張の魅力や良い所を共有し、「こんなに名張は良いところ」と誰かに語り、広めることで、相乗効果を生み出していきたいと考えております。そのように名張の魅力を高めていけるよう本計画の基本理念を「語れるまち なばり」としてしております。今後も本市をより良く感じていただける取組を進めていきたいと考えております。
計画素案全体について 現状と課題の項目は何が現状で何が課題かが分かり難い。現状分析をやった後に、課題があぶりだされてくるのだと思う。	4. その他	新たな総合計画策定に向けて設置しました総合計画審議会においても、現状分析のご意見をいただきました。現状分析の必要性を認識しつつ、今後展開していく新たな施策や取組を検討するにあたり、現状分析によって洗い出された課題等にとらわれず、自由な意見や発想による審議に重点をおき、計画策定を進めてきたところです。個々の施策においては、「現状と課題」として一定整理を行いながら、社会情勢等によって課題等も大きく変わることから、あらゆる変化に柔軟に対応し各施策に取り組んでいきたいと考えております。
計画素案全体について この計画は長期計画であるが、見直しはどうするのか。PDCAサイクルを回して年度ごとに見直すべきだと思う。	4. その他	本計画は「基本構想を10年」、「基本計画を4年」としてしております。なお、施策の取組につきましては、毎年度、その進捗状況等を評価していきます。